企業概要

株式会社Keigan

住所：京都府相楽郡精華町精華台7-5-1
けいはんなオープンイノベーションセンター211
業種：モーター、ロボット等の開発製造
従業員数：18名（うち高度外国人材5名）

サマリー＆ピックアップ!!

他社にない技術力、海外での京都の知名度を背景に、国内外の大学から優秀な外国人エンジニアが入社してくれた。採用前の長期インターンで、能力、性格、やる気などを見極め、入社後のミスマッチを解消している。また、定着率が高く、創業以来日本人を合わせても退職者は1名のみである。

【ピックアップポイント】

「“ものづくり”の企業だからこそ、今は語学力よりも、これまでどんなものを作ってきたか、どのぐらいのレベルのものを作れるかを重視した、能力重視の採用選考を行っています」

外国人インタビュー

名前：ジョシュさん
出身：アメリカ
入社：2022年
業務内容：ロボットやロボットに付随する機械の開発

名前：スティアンさん
出身：ノルウェー
入社：2019年
業務内容：ロボットの制御システムに関するソフトウェア開発

Q1:ジョシュさん　日本で働くことに家族の反応は？

日本で働く事を喜んでくれました。遠くに行く心配はしましたが、今頑張っているところを誇りに思ってくれています。

Q2:スティアンさん　職場で言葉の壁を感じますか？

ほとんど感じません。会議では、スライドを英語で作り、話し言葉は日本語を使うなど、英語と日本語を混ぜてコミュニケーションと取っています。

Q3:お二人の業務内容は？

主力製品である自律移動ロボット「KeiganALI」の開発を担当し、自律移動の制御システムやロボットに付属する機械の設計等の開発業務に従事している。また、スティアンさんは自律移動ロボット開発中に入社し、製品化実現に大きく貢献した。

Q4：スティアンさん　中小企業で働く魅力とは？

エンジニアとしての自分のアイデアを、実現しやすい環境があります。任される仕事が大きいので責任は重いのですが、だからこそスキルアップや自己の成長に繋がります。
自分の仕事が製品という形になって世に出ると、とても誇らしいです。

禁無断転載 Copyright（C）2024 JETRO. All rights reserved.

採用から定着までの企業分析

①採用背景と課題設定

外国人材採用の背景

- 海外での事業展開を視野に高い技術力を持つグローバル人材を求めていた
- 日本人の新卒採用も行っているものの、京都府内の大学の学生は多くが首都圏への就職を希望
- 日本人学生はファーストキャリアでの大企業志向が根強く、地方の中小企業は目にとまりにくい

課題設定

- ものづくり企業として、どんなものを作った経験があるかを重視した採用
- エンジニアとしての能力に重きを置き、語学力の高さはそれほど求めない（N3程度）に設定
- 社員18名の小さな会社ということもあり、決められた仕事以外はしないジョブ型の働き方ではなく、色々な仕事に前向きに取り組む積極性を重視

②実施した事による問題点と解決策

実施事項

- 新卒は基本的にインターン経由で採用（国籍を問わず）
- 大学コンソーシアム京都などを通して、国内の留学生や海外の学生を受け入れ、インターン期間中は、個々の専門を生かして一からものづくりに取り組んでもらう。その様子から能力、意欲や態度を見極め、採用者を決める

新たな問題点と解決策

- 外国人材の多様なニーズにどう応えるかが難しい
- ぜひ採用したい人材がいたが、母国の家族が心配していると聞き、当社の事業内容や本人が担当する仕事を伝える資料を作って渡し、無事入社にこぎつけた
- 宗教的な理由で平日の休みを希望するムスリムの社員がいるが、日本のルールに従って出勤してもらっている

③受入後の変化と定着

受入後の変化

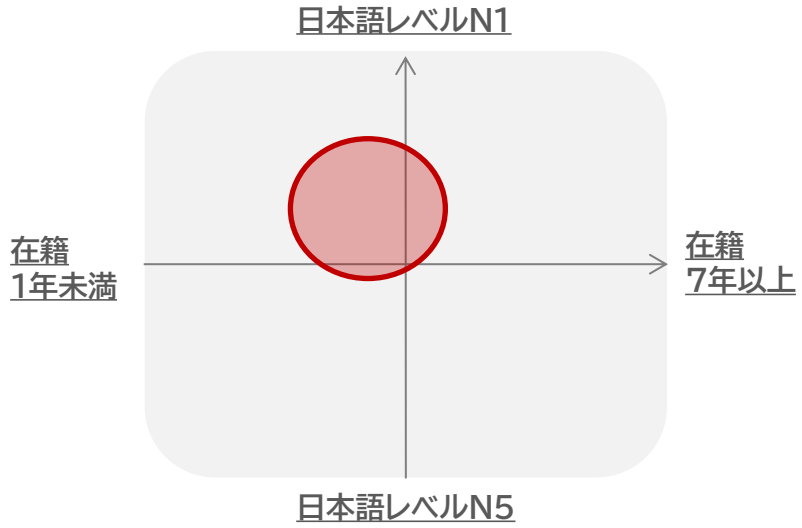
- モーターモジュールの製造からロボット開発に事業を拡大するタイミングで、ロボットト制御システムを専門とする外国人材が入社。その結果、自律移動ロボットの製品化が実現し、現在当社の主力製品となっている。全体的に開発のスピードアップが図られ、売上も向上した

定着のための取り組み

- 1年目から有給を10日付与し、母国への帰国時は有給を利用して数週間休みが確保できる。2016年の創業以来、退職者は1名のみ。
- フレックスタイムの活用で全社員が働きやすい環境
- インターンからの採用でミスマッチを防いでいること、責任ある役割を任せて自分の仕事が形になる達成感を味わえることも、離職率が低い理由と考えている

高度外国人材社員の在籍者分析

日本語と定着



プロの総合分析結果

日本企業に「堅苦しい」「厳しい」といったイメージを持つ外国人材は多いが、エンジニアのアイデアが形になりやすいフラットな組織、良い意味で“ゆるい”自由な雰囲気が、やりがいを感じながら「ここで働きたい」と思える環境をつくっていた。
日本人社員も英語を積極的に学ぶなど、日本語と英語を併用した「歩み寄り」のコミュニケーションも印象的。

禁無断転載 Copyright（C）2024 JETRO. All rights reserved.